

紫藤新聞



宮城県白石工業高校 報道委員会

〒989-0203 白石市郡山字鹿野43

TEL0224-25-3240 FAX0224-25-1476

学んだ技を誰かのために



工業化学部

&

工業化学科



視覚支援学校の生徒さんの胸に



製作に携わった皆さん

視覚支援学校に襟章贈る

贈しよう、ということになりました。

この活動内容を工業化学科全体に示し参加を呼びかけたところ、部員以外にも多くの有志が集まり、総勢24名の生徒が、放課後、リレー方式で計50個の襟章を完成させました。

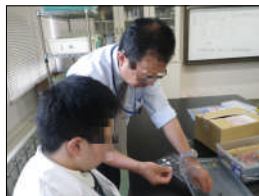
早速、視覚支援学校さんにお送りしたところ、襟章に指を触れて、自分たちの校章がどんな形なのかを確認していた生徒さんもいたそうです。

工業化学部は、これまでプラスチック成形技術を用いて、『いちご』や『温麺(うーめん)』などのキーホルダーを作ってきました。

2月初旬、生徒たちから、一年間の締めくくりとして、学んだ技術を活かして、世の中役に立つ何か形になる物を残したい、との声が出ました。話し合いの中で、以前、宮城県視覚支援学校に勤務していた齋藤隆志先生からアドバイスをいただき、同校の襟章を作って寄

襟章の作り方
以下手順の材料が、工業化学科で学んでいる合成樹脂です。

1. モデルとなるデザインを入ります。
一般に学校実習の授業を原案としますが、今回は校長先生から提供いただきました。
2. ネガ画像を作るために自動反転させます。
3. 製品の凹凸をイメージしながら、凸部を白く、凹部を黒くCGで作ります。この時、線の太さも調整します。
4. 左右逆転の画像に変換して、ネガ画像の完成です。
ここまでの画像は、すべてCGで処理します。
5. 主要位置を熱硬化樹脂版に、作成したネガを重ね、紫外線を照射します。
紫外線が照射された部分のみが硬化しますので、他の部分は水で洗い流します。
6. 両面を成形して、原型とします。
7. 原型をもとにシリコン樹脂で(繰り返し使用可能な)型を取ります。
8. シリコン型にポリエステル樹脂を流し込むことで、襟章を量産できます。
9. 襟章の裏に、主要位置を熱硬化樹脂版でピンを貼り付けます。その熱硬化樹脂版を剥がして、熱硬化、シリコン樹脂を流し込みます。襟章を剥がして、金具完成品を出したまま表面保護のためにクリアー塗装をして完成です。



手順書 拡大してご覧下さい

次期プロジェクト進行中

工業化学部では、第二弾として、船岡支援学校さんの襟章を製作中です。